

## 第69回水道事業審議会 質疑等

日 時 令和4年6月3日（金）  
14時～15時50分  
場 所 岡山市水道局  
本局3階災害対策室

### ■財政健全化に向けた議論について（第1回）

- 資料13ページ どのような方法で、いつごろ実施したものか。極力市民の実際の声が届くような形にしてほしい。  
⇒ 岡山市水道に関する意識調査報告書でまとめているもので、5年に1回程度実施している。無作為抽出で市内の3,000名の方に郵送で行って、回答率は半分強程度。この審議会も含め、いろいろな機会でも市民のご意見をお伺いし、反映させていく必要があると思っている。機会をとらえてやっていく。
- 他の収入の財源として、広告収入などの事業はあるか。また、他都市で成功事例はあるか。  
⇒ 以前は水道の検針票裏面を広告に使っていたが、現在応募がない状況。新たな収入策はできていない。他都市の成功事例は現在、具体的にお答えができるものがないので、次回のお返答としたい。
- 水道料金の収納率はどれくらいか。  
⇒ 請求月に支払いがない場合、委託会社と職員が協力して督促を行い、最終的には99%以上収入になる。未収の理由も調査しており、倒産や使用者の死亡など。
- 資料37ページ アクアプラン2017では年間約73億円の投資が必要とされていたが、今後は事業費の高騰や災害対策の強化等による増額を調整してもなお年間約85億円の投資が必要との説明であった。これによりアクアプラン2017の最終年に耐震化率などの目標値は変わるのか。他の政令市と比較して耐震化率などが低いが、政令市平均まで上げるための長期的な計画があれば、併せて示すほうが分かりやすい。  
⇒ 単純に耐震化率を上げることが目的ではなく、施設の重要度に応じて、

耐震化を図る順番を決めており、目標の耐震化率はその結果になる。例として、浄水施設の耐震化率でいえば、アクアプラン2017では、64.9%だった目標が10.4%と大幅に下がっている。これは三野浄水場の更新工事の完成が、事業費の高騰や調整、現場の状況等により先送りしたことで、完成が令和8年度から令和10年度に変更になったことによる。ほかの目標値についても、同様に事業費の圧縮による先送り等により数値が下がっている。アクアプラン2017策定時の耐震化率より数字は低くなっているが、目指すところは同じなので、予定より時間はかかっているが目標へ向かっている。

- 資料37ページ 平成29年から令和元年について、アクアプラン2017を継承した場合の赤い折れ線グラフがアクアプラン2017の黒い折れ線グラフよりも下回っている。そこがいわゆる圧縮部分という理解でよいか。

⇒ 平成29年から令和元年については、入札や繰越等による減で、圧縮については、令和4年度以降の事業費について申し上げた。

- 耐震化ではなく、建替などほかの方法を考慮しないのか。  
⇒ 詳細設計を進めていく中で、条件が変わるごとに、事業費や工期の見直しを行う。現在の計画はその結果になる。

- 今後10年間の投資の方針については説明があったが、さらにその先の投資について、増えるのか？それとも減るのか？現状の価額ベースで構わない。

⇒ 三野浄水場の更新が終われば、半田山配水池の更新に取り組むことになるが、これも10年くらい要する大きな事業になると思われる。その先の投資については、具体的に申し上げにくいですが、やはり同規模程度は必要と考えている。

- 資料37ページ 令和3年度以降の10年間の試算の中に、事業費の高騰、年間の増加率は加わっているか。入っていないとすると、令和4年以降の10年間で、この計画どおりにいかなかったときに、どのように考えているか。

⇒ 現在の価額をもとに積算している。今後さらなる事業費高騰が続けば、計画どおりでは済まなくなると思われる。

## ■水質検査に用いるヘリウムガスの調達状況について

- 塩素ガスはどのような状態か。
  - ⇒ 塩素ガスは昔、水道水の消毒に使っていたが、現在は使っていない。検査にも使えない。消毒は次亜塩素酸ナトリウムを使用している。
- 現状の在庫でどれぐらいまでもつのか。
  - ⇒ 今年度末までは、法に定められた回数を検査できるという見込みを立てている。その間に、代替ガスを使用した検査を考えているが、代替ガスは感度が落ちてしまい、必要な感度まで取れない状況も考えられる。同様の検査機関と情報交換し、併せて国に要望も検討したい。